

# 琉球大学学術リポジトリ

## 米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 毒ガス問題 毒ガス撤去第一次移送(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43776">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43776</a>

44/  
7/20  
5  
7/26

在  
ソ  
連  
大

ワカ  
にヒ

大政事外外務官  
務務 眞房  
次次 眞房  
臣官官 長長  
備備 官官  
総人電厚計  
参調析  
参領旅移  
長

参地中東  
長 北東西  
参北北保  
参一  
参西東洋  
西東

参書近ア  
長 次総経国万  
参實統  
参政技二  
長 国一理  
参条協規  
参政経科  
長 軍社専  
参道内外  
長

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

206

総番号(TA) 31329 主管  
 69年7月20日 19時50分 Y 連 発  
 69年7月21日 15時35分 本 省 着 米地

外務大臣 殿 中川 大使 臨時代理大使 総領事 代理

米軍基地の化学兵器問題

第2113号 平

19日イヌヴェスチャの「ペンタゴンのかん計」と題する報道要旨次の通り。

米紙によれば、すでに何年にもわたり、しん経ガス弾が海外米軍基地、特に日本、西独、南鮮の基地に供給されている由である。最近オキナワの一つの基地でそのガスもれて24人がひ害を受けるといふ事件が発生した。日本領土内へのかかる武器のちよ蔵についてのペンタゴンのひたかくしにもかかわらず、このニュースは日本世論のいかりをかき、オキナワ、ヤラ主席、オキナワ諸政党、日本社会党等によるさつ人兵器撤去要求となり、米國務省もついに日本政府の説明要求に対し、事件発生的事实を認めることを余ぎなくされた。

米國が化学生物戦を準備しているのは、日本においてだけではない。例えばしん経ガスの装備は、50年代から米軍の標準的な政策になつていわれている。18日ネルソン米上院議員は、議会においてこの問題を取りあげ、化

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

学、生物さつ人兵器のちよ蔵、配置に関する広範な調査の実施を要求した。

13)

- 2 -

外務省

ソカヒ 万博

大政通外外機官  
 務次典房  
 臣官官(長長  
 領傳文会管給  
 総人電厚計  
 國資長  
 領移長  
 参地中東  
 長北東西  
 参北北保  
 中南  
 参西東洋  
 西東  
 参書近ア  
 次総経国  
 参賀統  
 参政枝二  
 国一理  
 参余協規  
 参政経科  
 軍社専  
 参道内外  
 一二

防衛  
 警察  
 注意  
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。  
 479

電信写

総番号(TA) 52005 主管  
 69年7月26日17時10分 / 速 発着 米北  
 69年7月27日00時31分 本省

外務大臣殿 中川 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワにおける化学兵器 (論評)

第2/72号 平

オキナワのどくガス兵器問題に関し、当地では当初ローニンズエエズナーミヤ(20日)、イズワエスチャ(20日)などが簡単に事実を報道していたに過ぎなかつたが、プラウダは25日(東京特派員ビリュウコン)及び26日(グ・ヴァシーリエフ)連続して要旨次の論評を大きく掲載した。

1. 25日付プラウダ

(1) 今回の事件は住民に過去におけるウサギの大量死亡、小学生のガス中どく、「原因不明」のひふ病などを思い出させ、オキナワに化学兵器が配備されているとの確信をもたせた。ルウキエウ立法院は満場一致で米軍に対し撤去を要求した。

(2) かえて本土なみ返かん要求を推進している日本の支配層の論拠にヒビが入った。考えられていた対象は「核兵器」中。長きよ離ロケットならびにそのための設備」であつて、化学細菌兵器持ちこみに日本が反対出来る条項は

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ない。同兵器は「事前協議」の死かくなつていた。

(3) 米国は返かん交渉を行ないながらも、極東における侵略政策すい行のために、オキナワ基地の利用をやめようとしていないことを今回の事件は明らかにした。ガス兵器の直接の目標はヴェトナムであろうが、ヴェトナムの戦火がおさまれば、朝鮮半島がその目標となるであろう。

(4) 野党、総評などの激しい批判と要求の前に日本政府も対米申し入れを行なわざるを得なくなつた。同時に日本の公式すじでは、1925年の化学細菌兵器使用禁止に関するジュネーヴ条約の批准が問題となつている。これがどう解決されるかは今後判明しよう。

(5) 米国防省はこれまでさつ人ガスの持ちこみの事実を発表しなかつたが、今般これをオキナワから撤去すると発表した。右は、さなきだに低下している日本における米国の権いをより護すること及び大量さつりく兵器を配備しているアジア諸国を訪問するニクソン大統領が抗議デモにあわないようにすることを目的としている。

2. 26日付プラウダ

今回の事件は米軍国主義に占領され、その侵略政策の基地となつている日本の島で起つた。くう然によつて米国が海外の基地に大量の化学、細菌兵器を配備している事実が明らかとなつた。帝国主義と軍事同盟を結んでいる国の任

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

民が、核兵器、どく性物質、細きんのつまつたロケット弾頭の下でいかなる危険におびやかされているかを理解するのは困難ではない。スペイン・パロマレス島の事故があらためて想起される。

(T)